



熊野古道伊勢路踏破ウォーク

～いざ、聖地熊野へ～

完歩記念

田丸⇨尾鷲

イベントレポート

これまで4号にわたってご紹介してきた「熊野古道伊勢路紀行」いかがでしたか？当センターでは、開館10周年記念企画として、熊野古道伊勢路を6日間に分けて踏破するツアーを開催しています。今回は前半部（田丸～尾鷲）を踏破した様子をご報告します。

初日

初日は瀧原宮に集合し、バスで出発地点の田丸へ。準備を整えていざ出発。熊野街道の起点である道標を確認し、舗装路を歩くこと約2時間、最初の峠道「女鬼峠」の切通しを抜け再び舗装路歩き。下三瀬では「三瀬の渡し保存会」のご協力で、舟で宮川を渡していただくという貴重な体験をしました。そして、三瀬坂峠を越え、予定より30分早く瀧原宮に到着しました。

2日目

2日目もほとんど舗装路歩きです。途中雪が舞い散るなど厳しい状況でしたが、みんなで歩けばなんのそのという思いで歩きました。この日の見どころはやはり伊勢から紀伊への国境、荷坂峠から眺める熊野灘の風景。キラキラ輝いて絶景でした。紀伊長島へ着くと、普段は静かな港町がなんだか賑やか。ちょうど長島神社のお祭りが行われていて、ひと時ですが地元の人たちと触れ合うことができました。

最終日

最終日は、これまでと違い4つの峠を行くコースで、更に全行程の中でも最長の32.5kmを歩くとあって、朝から参加者の意気が伝わります。一石峠で朝日が顔をだし、海を眺めながらサボ鼻道を行き、三浦峠を越えて熊ヶ谷道を進み、始神峠から島々が浮かぶ熊野灘の美しい景色を眺め、最後の馬越峠を目指して約10kmの舗装路を歩きました。美しい石畳の馬越峠を1時間程で越え、尾鷲市内へ。熊野古道センターが近づくにつれ、一步一步、田丸からの道のりを思い出しながら歩きました。横断幕を手にした職員に迎えられゴールした瞬間のことは今でも忘れません。長い道のりを共に歩き通せた3日間のことは、達成感とともにステキな思い出として、参加者の心にいつまでも残っていてほしいと願います。この踏破ウォークでは、当時の旅人が歩いたとされる速度で歩きましたが、古道歩きの楽しみ方は人それぞれです。自分に合ったペースで歩き、熊野古道沿いで見られる美しい景観を楽しんでいただければと思います。さて、踏破ウォーク後半はここ尾鷲から本宮を目指します。無事、全員で完歩できますように…。(2017.2.10)

「尾鷲道」を歩いて

昨年の秋、熊野古道センター主催の「尾鷲道を歩く」に参加させていただきました。山行の起点となった大台ヶ原山の駐車場周辺は、紅葉シーズン真っ只中で多くの登山客で賑わっていました。しかし、尾鷲道へと道を進めると行きかう人も無くなり、三時間余りで到着したマブシ峠では、大峰山脈の奈良県から和歌山県に至る百八十度の大バノラマが、私を圧倒しました。

大峰山脈前方には竜口尾根とサンギリ峠が立ちほだかり、この稜線の右奥には大台ヶ原山が鎮座。体を少しずつ左に向けていくと、直下に尾鷲の町並みや電力会社の煙突、そして紺碧の熊野灘が眺望できました。私の母が十歳の時に、尾鷲への修学旅行で奈良県の上北山村から、十六時間をかけて歩き通したルートを目で追いました。尾鷲の坂下にたどり着いた時はすでに真つ暗で、尾鷲湾の無数の船灯かりを見てほっとしたそうです。そのときの母や、娘の無事を祈り送り出した母（私の祖母）の心情に心をいたすとき、マブシ峠からの風景はたんなる風景ではなく、無数の人たちの心に沁み込んだ汗と涙の風景だと想えてなりま



熊野古道からのてがみ

42 通目



せんでした。私は絵描きで、熊野市五郷町で、熊野石蔵美術館を開館しています。今回の山行で得た感動や想いを織り込んで、この大きくて深い風景を描くことと、これから整備する美術館のホームページを通して、大台ヶ原や熊野の魅力、少しでも多くの皆さんに伝えていきたいと考えています。今回の「尾鷲道」をたどる好企画、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

筆リレー
 次は熊野市の和田利信さん

田垣内 康夫さん
 (熊野市) 御浜町立尾呂志学園小学校教頭、熊野石蔵美術館長、自由美術展出品作家、「子どもじょう」画家

花尻 薫からの季節のたより No.42

レンゲソウ マメ科

レンゲソウはゲンゲ、またはレンゲなどと呼ばれています。原産地は中国大陸で、日本へは江戸時代に渡来したそうです。明治時代以降、水田に種を播いて肥料にしたという。肥料効果がすばらしく、根に根粒バクテリアがつき、空中の窒素を固定して蓄えるので、大変役立つといわれてきました。近年になると水田の田植えが早くなり、水田に播くことがなくなりました。かつては、紅紫色の花が田んぼ一面に咲き、ミツバチの重要な蜜源でありました。中国から渡来した当時は漢名で「ゲウエウ」の音読みからゲンゲと呼ばれるようになったそうです。植物図鑑では「ゲンゲ」と記載されていますが、



一名「レンゲソウ」となっています。また、関西では「ゲンゲ」と言ったのに対し、関東では「レンゲ」であったと言われています。蓮華草は花の輪状に並んでつく様子を、ハスの花に見立てた名であるとも言われています。花は3月頃から5月頃ですが、5月に種が熟すると大雨のため、サヤが水に流されて広く分布するようになったとも言われています。最近では山の棚田などでもレンゲソウは見られなくなりました。花言葉は「私の苦しみを和らげる」で、花の先に集まる花は小さな蝶がたわむれながら、つかず離れず、舞うような姿に見える、見る者の心をなごませてくれるからだ」と書物に書かれています。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 営業時間: 11:00~14:00
 料 金: 中学生以上.....1,200円
 小学生以上.....700円
 4歳~小学生.....300円
 4歳未満.....無料
 60歳以上.....1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラルが豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もカカカです。

開館時間: 10:00~21:00
 入 浴 料: 一般.....600円
 65歳以上.....500円
 4歳~小学生.....300円
 4歳未満.....無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪
 営業時間: 9:00~17:00
 (カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。



●お車で越しの方は...
 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車で越しの方は...
 JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車(徒歩約2分)

熊野古道センターニュースレター

熊野古道センターからのてがみ
 2017年春号

- 発行日: 2017年3月10日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道財団・歴史文化ネットワーク)
- 編集担当: 東
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumano-kodocenter.com
 HP http://www.kumano-kodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道 伊勢路 通行止めのお知らせ
 熊野古道伊勢路の以下の峠道が通行止めとなっております。
 「横垣峠」
 (南牟婁郡御浜町阪本地区~神本地区)
 ※平成29年3月10日現在
 60000170310MH

旬の企画展
Event Info.

企画展 1 シリーズ熊野古道
熊野古道大辺路
～海と山が織りなす古の道～

枯木灘と熊野灘を見渡す絶景が広がり、主に文人墨客が絶賛し、数々の画や紀行文を残した熊野古道大辺路。本展では近世から現代までそれぞれの時代を概観し、大辺路の魅力に迫ります。

会期:4月22日(土)～6月18日(日)
時間:午前9時～午後5時
入場料:無料
場所:企画展示室

特別展示室 企画展
紀宝町ふるさと資料館展

紀宝町ふるさと資料館「みどりの里」が所蔵する資料のうち数点を展示し、紀宝町の歴史や文化、暮らしについてご紹介します。

会期:4月8日(土)～6月4日(日)
時間:午前10時～午後5時
入場料:無料
場所:特別展示室

大辺路の暮らしが生んだ世界遺産
～道加登録された大辺路～

日時:4月23日(日)
午後1時30分～3時
入場料:無料
定員:80名(要申込・先着順)
場所:映像ホール
講師:上野一夫氏
(熊野古道大辺路中継区隊長)

大辺路を歩く
～新緑の長井坂・ミツバツツジを訪ねて～

新緑とミツバツツジが見頃を迎える熊野古道大辺路の長井坂を歩くツアーです。道中には「段築」と呼ばれる歴史的遺産が見られ、眼下には枯木灘の絶景が広がります。

日時:4月29日(土・祝)
午前9時～午後3時30分
定員:20名(要申込・多数の場合抽選)
場所:熊野古道大辺路長井坂
(和歌山県串本町)

参加料 500円
※別途、JR運賃210円必要

案内人:大辺路長井坂クラブ所属会員
対象:どなたでも
※健康者向けコース(歩行距離約11km)
受付:3月29日(水)～4月22日(土)

ギャラリートーク
4月8日(土) 午後1時より
ギャラリートークを開催します。

講師:福村直人氏(熊野市文化財専門委員)

GW 特別企画!

クライミング体験や、機関車搭乗体験の他、昔懐かしいポン菓子の実演など、芝生広場でのイベントが盛りだくさん。ぜひ、ご家族で遊びにきてください!

詳細は後日ホームページ等で発表します。

5/3(水・祝)～5/7(日) クライミングに挑戦しよう!

5日間の特別企画!熊野古道センターの芝生広場にクライミングウォールがやってくる!道具は一切不要、講師が丁寧にサポートしますので、初心者でも安心してご参加いただけます。

時間:午前10時～午後4時(1日約50分)
参加料:小学生200円、高校生以上500円(保険代含む)
定員:各日24名(当日先着順)
対象:小学生以上(14歳以下は保護者同伴)
場所:熊野古道センター芝生広場
講師:紀南クライマーズ協会

参加料は5メートル四方でお子様向けですが、大人の方もご参加いただけます。

交流イベント
透明水彩画スケッチツアー ～熊野を描く～

ダイナミックな人物像と熊野との融合をテーマに独自の世界観を描く画家、新谷武文氏を講師に迎え、熊野古道や周辺の漁港、町並みの風景を透明水彩画で描くスケッチツアーを開催します。

開催日:5/27(土)・6/10(土)・10/14(土)・10/28(土)
時間:午前10時～午後4時
参加料:3,000円/年間(保険料を含む)※材料費別
定員:15名(要申込・先着順)
対象:中学生以上
場所:熊野古道センター、紀北町馬越峠、尾鷲市梶賀町、熊野市木本町
講師:新谷武文氏(画家)

年間4回連続講座
4/20(土)～5/13(土)

体験教室
4/15(土) 県民の日 木工体験

三重県民の日のイベントとして、予約なしで来館してすぐに体験できる木工体験教室を開催します。尾鷲ヒノキを使用した、バターナイフづくりです。加工済みのヒノキの木片を紙ヤスリで削る体験ですので、小さなお子さんでも気軽に体験して頂けます。

時間:午後1時～3時受付
参加料:100円
定員:30名(当日先着順)
場所:展示棟ロビー
講師:熊野古道センター職員

4/2(日) 伝統体験 ① カツオ生節づくり体験

漁業が盛んな尾鷲市では昔から魚介類を使った数々の加工食品が生産されています。その中でもカツオ生節の製造工程を体験していただき、地域の伝統食文化に触れていただけます。

出来上がった生節はお持ち帰りいただけます。

時間:午後1時～4時
参加料:1,200円(材料費含む)
定員:20名(要申込・多数の場合抽選)
場所:大瀬勇商店 加工工場(尾鷲市中井町)
講師:大瀬 勇人氏(大瀬勇商店)

3/2(土)～3/26(日)

5/14(日) 伝統体験 ② 尾鷲わっぱ製作体験

三重県の伝統工芸品「尾鷲わっぱ」について、唯一の製作者である世古効史氏にご指導いただき、製作工程の一部を体験し、尾鷲ヒノキの魅力に触れていただけます。作った作品はお持ち帰りいただけます。

時間:午後1時～4時
参加料:2,000円(材料費含む)
定員:15名(要申込・多数の場合抽選)
場所:映像ホール
講師:世古効史氏(ぬし熊四代目)

4/14(土)～5/7(日)

6/3(土)・6/4(日) 伝統体験 ③ 陶芸体験

尾鷲市で30年以上続く陶芸サークル「おわせ陶の会」より講師を招き、器作りを体験していただけます。2日間に分けて、成形から塗りまでを行い、オリジナルの作品を作ります。

時間:午後1時～4時
参加料:2,000円(材料費含む)
定員:15名(要申込・多数の場合抽選)
対象:高校生以上 ※最小人員10名
場所:体験学習室 陶の会陶房(尾鷲市中井町)
講師:おわせ陶の会会員

5/3(土)～5/27(日)

熊野古道自然学校
6/3(土) コケの観察会～ミクロの世界をのぞいてみよう～

熊野地域の自然について学ぶ体験教室。第1回は南谷上流(旧矢ノ川峠道)周辺に生育するコケ植物について、その分類や生態を学びます。

雨天の場合は6/4(日)に延期

時間:午前10時～12時
参加料:500円(保険代含む)
定員:20名(要申込・多数の場合抽選)
場所:旧矢ノ川峠道・南谷上流域
講師:山田耕作氏
(財団法人尾鷲博物館非常勤研究員、理学博士)

5/3(土)～5/27(日)

その他
Guide&Tips

熊野古道フォトコンテスト

第10回の節目となった今回の熊野古道フォトコンテストもたくさんの方にご応募いただきました。

プロ・アマ問わず幅広い方々から、東紀州にある熊野古道伊勢路や世界遺産登録史跡の魅力を表した作品を広く募集し、日本風景写真の第一人者、竹内敬信氏の審査により、入賞作品が決定しました!

最優秀賞

田岡 穂積さん(熊野市)
「信仰の観音道」
(撮影場所:熊野市観音道)



優秀賞 熊野古道センター賞

田中 嘉宏さん(和歌山県紀の川市)
「鬼の伊吹」
(撮影場所:熊野市本町)

優秀賞 熊野古道センター賞

息田 良平さん(伊勢市)
「舞う」
(撮影場所:熊野市本町)

優秀賞 熊野古道センター賞

松本 武則さん(和歌山県新宮市)
「早朝の散歩」
(撮影場所:熊野市七宝院)

他、入選6名

和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

当センターが行う参詣道保全活動「道普請」は、毎年、多くの方に参加していただいています。1月10日には、インド・マハラシュトラ州観光開発公社(MTDC)の職員等29名が「JICAおもてなし研修事業」の一環として、道普請をされました。MTDC職員からは「世界遺産の保全について、大変理解することができた」と好評でした。

当センターでは、「紀伊山地の霊場と参詣道」の良好な保全及び適切な活用が円滑に進むように、世界遺産セミナー(年4回)を開催しています。来年度は下記の日程での開催予定となりますので、世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしております(参加費は無料です)。

※参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)までお願いします。

平成29年度 世界遺産セミナー(予定)

6/4(日) 丹生酒造神社と丹生郡比売神社の歴史 場所:九草山町中央公民館	7/1(土) 中近世に建立された田辺から本宮にかけての建造物 場所:上富田町岩田公民館	9/3(日) 高野参詣の歴史と魅力 場所:橋本市教育文化会館	11月12日 世界遺産熊野地域の近代建築物(家から5分圏) 場所:串本町内で開催予定
--	--	---	---

平成29年1月～平成29年3月の道普請参加団体(敬称略)
インド・マハラシュトラ州観光開発公社、明治安田生命保険相互会社、NTT西日本和歌山支店、世界遺産熊野本宮、和歌山ターミナルビル世界遺産クラブ

「道普請」とは
文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・雑草清掃等)を行っている活動です。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは
和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

日曜わくわくものづくり体験教室

東紀州で活躍中の職人や工芸家を講師に迎えて、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前予約不要で、小さいお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

時間:午後1時～3時受付
参加料:100円～(お昼によって異なります)
場所:交流棟ロビー
講師:大形弥生氏、村川実氏、竹内健信氏、中井章氏、吉田誠氏、熊野古道センター職員

詳しくは熊野古道センターHPでご確認ください。

新しい古道の歩き方
5/27(土) 海と山を結ぶ交易の道・北山道を行く

本宮道の「風伝峠」から分岐し、吉野方面へ北上する北山道歩きます。苔むした美しい石畳が続く「通り峠」を越え、日本の原風景が残る「丸山千枚田」を巡ります。

雨天の場合は6/24(土)に延期

時間:午前10時～午後3時
参加料:500円(保険代含む)
定員:20名(要申込・多数の場合抽選)
場所:熊野市紀和町
案内人:川口洋司氏
(熊野古道語り部会の会員)

4/27(土)～5/20(日)